

共通の視点		5歳児												小学校1年生											
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
①期待する子ども像		<p>●第3次甲州市教育振興基本計画(R5~R9)基本理念 一人・自然・ふるさとを愛する甲州教育ー学校教育の基本目標「たくましく心豊かな人づくり」 ●それぞれの園・所、小学校の教育目標</p> <p>架け橋期全期にわたり、共通理解をもって、重点的に育みたい子ども像</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px;"> <p>言葉による伝え合い 自分の考えや気持ちを伝え、相手の話を聴くことができる子</p> </div> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px;"> <p>道徳性・規範意識の芽生え 自分のことも、他者のことも大切にできる思いやりのある子</p> </div> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px;"> <p>協同性 共通の目的をもって話し合ったり、役割を分担したりして、実現に向けて力を発揮し、やり遂げる子</p> </div> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px;"> <p>健康な心と体 目標をもち、さまざまな活動に挑戦して困難を乗り越えようとする子</p> </div> </div> <p style="text-align: center;">「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」</p>																							
②遊び・学びのプロセス		<p>幼児期の遊びを通じた発達と学び</p> <p>◆遊びを通して、多様な仕方でも環境に関わり、思考を巡らし、想像力を発揮し、環境に様々な意味や関わり方を発見する。</p> <p>◆遊ぶことへの意識があり、授業を通して個別の学習活動や協働的な学習活動をし、学んでいく。</p> <p style="text-align: center;">幼児期の経験を生かす</p> <p>気づき・発見: なんだらう・不思議だな 好奇心: すごい・不思議・面白そう・やってみた 疑問: どうして?なぜだらう?</p> <p>活動意欲: こんなこともあるんじゃない? 発見・思考の転換: あ、こういうことなんだね 探究心: もっと知りたいな</p> <p>知覚的にとらえる(五感<<視覚・聴覚・触覚・味覚・臭覚>>を通して) → 認知的にとらえる(比較する・関連付ける など)</p>												<p>子ども主体の学び デジタル×リアル</p> <p>生活のプロセス</p> <p>自信: ○○園のリーダーはわたしたち! あこがれ: 小学生ってかっこいい! 期待: 学校たのしみ! 期待と不安: 学校に慣れる時期 安心: 活動を開始する時期 挑戦: 活動を楽しむ時期 成長の自覚: 1年間を通じた成長の確認とこれからの成長への期待</p>											
③園・所、小学校で展開される遊びや生活・学習構成等		<p>5歳児のカリキュラム</p> <p>○明るく伸び伸び行動したり、進んで運動したりすることへの興味や意欲につながる遊びや生活</p> <p>○身近な人と親しみ、工夫したり、協力したりして一緒に活動することを楽しめる遊びや生活</p> <p>○身近な環境に親しみ、発見を楽しんだり、考えたりすることにつながる遊びや生活</p> <p>○言葉に対する感覚を豊かにする遊びや生活</p> <p style="text-align: center;">健康 人間関係 表現 言葉 環境</p>												<p>1年生のカリキュラム</p> <p>◆スタートカリキュラム</p> <p>○一人一人が安心感を持ち、新しい人間関係を築けるようにする活動</p> <p>← 幼児期の体験を取り上げる</p> <p>知ってる? やったことある? 知ってるよ! あのね</p> <p>子どもの経験を引き出す</p> <p>丁寧に聞き取る</p> <p>○生活科を中心とした合科的・関連的な指導による単元構成</p> <p>○日常生活とつながる学習活動 等</p> <p>国語 算数 図工 生活科 音楽 道徳 体育</p> <p>義務教育としての基礎的な資質・能力の育成</p>											
④指導上の配慮事項	先生の関わり・役割	<p>・幼児にとっての学びの場となる環境を構成する。</p> <p>・環境の下で幼児と適切な関わりをする。(活動の理解者、共同作業者・共鳴する者、憧れを形成するモデル、遊びや課題解決の援助者)</p> <p>・幼児が遊びや生活の中で見通しや主体性をもって活動し、達成感を味わえるように支援する。</p>																							
	環境の構成・環境づくり	<p>・幼児が関わる環境(人、もの、出来事、時間、空間等)を教材とし、整備・構成する。</p> <p>・幼児の主体的な遊びを大切にしつつ、どのような成長を願うのかといった先生の意図を環境に込め構成する。</p> <p>・幼児教育現場における環境の工夫を取り入れ、指導の充実を図る。</p> <p>・授業で扱う学習教材だけでなく、子どもが関わる環境(掲示物、教材の置き場所)等も学びに影響する環境とし、教材観を広げ、環境づくりを行う。</p>																							
⑤子どもの交流		<p>・5歳児と1年生の交流会 ・5歳児と他学年との交流会 ・小学校の児童会行事への参加 等</p>																							
⑥関係者の交流(保育者、教諭、管理職、行政等)		<p>知ることによって新たな視点を持ち、意識することで変化を生む~情報交換の場を大切に交流~</p> <p>・保育参観や授業参観(先生の関わり、環境構成、幼児・児童の育ちや発達等を学びあう)</p> <p>・合同の研究会(甲州市幼児教育推進協議会<年2回>実務者会議<年2回> 共通の視点をもとにカリキュラム、環境、交流等について検討する)</p> <p>・要録による伝達 等</p>																							
⑦家庭や地域との連携		<p>・子どもの成長を共有し、肯定的に見守れるようにする。・保護者が安心感をもてるよう支援する。・社会全体で子どもの育ちや学びを支えるよう、関係者が連携し取組を進める。・生活のリズムを整え、基本的生活習慣が身に付くよう連携して取り組む。 等</p>																							

幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿の視点

- 健康な心と体
- 自立心
- 協同性
- 道徳性・規範意識の芽生え
- 社会生活との関わり
- 思考力の芽生え
- 自然との関わり・生命尊重
- 数量・図形、文字などへの関心・感覚
- 言葉による伝え合い
- 豊かな感性と表現

https://www.mext.go.jp/content/1422303_08.p

★「甲州市架け橋期のカリキュラム」を共有し、自園・所、自校のカリキュラムを見直し、改善し、実践につなげる。